仲間作りと物作り

グループを作って活動する人は多いですが、個々に活動していたグループが一つになって活動を広げた例 を紹介します。

「カムカム遊悠倶楽部」代表鈴木文吾さん(写真後列左)にお話を聞きました。

掛川塾定年後仲間作りのために、掛川市のシニア生涯学習塾「」(旧、出会い塾)に入りました。

掛川塾を卒業する時、手作り作品などの芸術活動をする「遊悠倶楽部」と学童向け読み聞かせ活動が中心の「カムカムエブリボディ」が結成されました。



遊悠倶楽部」で作品展をしようとしたら、自分たちだけの作品では数が少ないと思った鈴木さん達は同期の「カムカムエブリボディ」にも声をかけました。

また掛川塾のほかのメンバーや講師、関係者に声をかけ、写真・絵画・陶芸・手芸・碑文谷彫など幅広い作品が集まりました。趣味を持っている人は意外と多く、思った以上の応募となりました。

新たにグループを「カムカム遊悠倶楽部」という名前とし、平成29年2月6日(月)~2月17日(金) 、掛川信用金庫 下俣支店 2階キャラリーで第一回作品展が開かれました。 準備期間も少なく土日が休みだったせいもあり、来場者は180名でしたが、初めて一つのことを成し遂げた喜びがありました。





MG 4573 今年はさらに、幅広く募集したところ、昨年の倍の作品が集まりました。

平成30年2/6~2/18まで、大東図書館に会場を移し開催しました。土日も開けられ、図書館に訪れる方も展示を見てくれるといううれしい相乗効果も生み、約800名の来場者がありました。





MG 5161 鈴木さんは「物作りをしない人は、企画広報にまわり、新聞社などに連絡してくれて、おおきな力となって くれる。いろんな人がいて成功できる」とチームワークの大事さを強調されていました。 下の表からわかるように、今年は新聞社やテレビに紹介されるたびに来場者が増えました。

*	E.	18. le	人人民會	4		
3	4	T.1020	≑ 2.FσF	002	Arge (e)	
4 ←⊢		TM	Т#	44	R 4	
2 月 60	火	***	30	30	#1-4.55H	
166	*	20	22	42	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
12	*	۷6	73	BE	pag. On IDST WENTER	
S 2	£	21	28	45		
12	4	.39	40	73	305円点の観点では、企業が可能	
121	3	5	5	0	88 578 8138 (556 II	
12	л	5	Ð	0	PETABLI :	
r	ж	20	20	45	C The state	
14	Ŧ	26	25	51		
12	*	41	41	B2	KIIKCA ZARR	
15	差	TO	44	1'4	向け会でに3回引用	
T.	2	64	50	122		
18	8	B1	55	/36	ОМРНИ-138 %-594(4))	
A		427	3AB	R13		

鈴木さんも、特に物作りが得意なわけではないそうですが、何か動くことで得られるものが増えていくと感じているそうです。

例えば自分はできないと思っていた「読み聞かせ」も誘われて、初挑戦。意外と楽しいことに気づきまし

小さいグループ同士が、1つのグループになれるのも、掛川塾で1年一緒に学び、それぞれがお互いをよく 知っているからでしょう。

仲間作りの機会となった掛川塾の存在も大きいようでした。

一人で作品展をするのはちょっと・・・と思う人達は意外と多いです。そんな人のためにもこれからも続けていきたいと来年に向けて輪は広がっているようです。 参加したい人は連絡下さいとのことでした。

連絡先

「カムカム遊悠倶楽部」0537-24-7800(鈴木)